

## 評価シート 様式

取組名	元気がおいしい南房総 女性力を磨く”良い食”起業家プロジェクト		
実施団体名	南房総”良い食”起業協議会	対象地域	南房総市
(代表団体名)	株式会社とみうら	推薦団体名	南房総市

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたととは判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
			県の農林振興センターが新たに参画し、体制が強化された。
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の 見 込 み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
			市の事業により、商品の安定的・効率的な製造が可能となる見込みであるなど、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	元気がおいしい南房総 女性力を磨く”良い食”起業家プロジェクト		
実施団体名	南房総”良い食”起業協議会	対象地域	南房総市
(代表団体名)	株式会社とみうら	推薦団体名	南房総市

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 地域素材の安定供給を図るため、耕作放棄地の活用が計画されるなど、地域活性化への相乗効果・波及効果が期待される。地域素材を活かして商品開発に取り組む意欲ある女性を集めて、アカデミーを立ち上げ、起業家として育成する体制に先導性・モデル性があると評価する。
	■ ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	□ 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	□ ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見) 本取組は、地域が一体となって女性力の活用に着目した事業を展開する点で先導性ある取組と評価でき、地方の元気再生事業を継続することにより、本格展開に向けた取組が継続的に行われることが期待できる。 次年度以降については、本格展開に向け、以下の視点を踏まえた取組を検討すべきである。 具体的には、取組①「起業家アカデミーの継続・拡充」において、本年度に絞り込んだ試作品の商品化に欠かせない製造加工技術やパッケージの開発に加え、商品の販路開拓やプロモーションなどの販売支援を並行して行うこととしているが、本事業を本格化させる上で、商品化プロセスに移行できなかった試作品について、同様に本事業で支援する必要があるかどうか、改めて検討する必要がある。なお、取組②「起業家サロンづくり」については、地方の元気再生事業による支援が終了した後も自立的にサロンが継続できるような体制づくりに留意すべきである。